

令和5年度

# 徳島大学医学部保健学科

看護学専攻  
放射線技術科学専攻

3年次編入学（第3次）  
学生募集要項

令和5年1月

徳島大学医学部保健学科

# 目 次

## 徳島大学医学部保健学科 3 年次編入学（第 3 次）学生募集要項

1	受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）	1
2	募集人員	4
3	出願資格	4
4	障がいのある入学志願者との事前相談	5
5	出願期間	5
6	出願手続	5
7	入学者選抜の方法	7
8	配 点	7
9	試験期日及び場所	7
10	合格者発表	8
11	追加合格	8
12	入学案内	8

# 徳島大学医学部保健学科 3 年次編入学（第 3 次）学生募集要項

## 1 受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

### 医 学 部

高い責任感，倫理観，ならびに生涯学び続ける意志をもち，国際性と研究能力を兼ね備えながら，基礎から臨床までの幅広い知識・技能を基盤として医療を實踐できる医療人へ成長できる人を求めています。

#### ■保健学科

保健・医療・福祉の分野において，人間尊重の倫理に立脚した高い使命感をもち，高度の専門知識・技術を基に，チーム医療，地域医療及び国際的な医療支援に貢献できる人を求めています。

#### ◆看護学専攻

国際化，高度化する医療の発展を支える看護学の知識・技術を修得するために必要な基礎学力を備えるとともに，健康の維持・増進，生活の質を高めるにふさわしい潜在的資質を有する人を求めています。

#### ●求める人物像

##### 関心・意欲・態度

看護への志向性をもち，人間，生命，健康，医療，環境に強い関心とそれらを学ぶ意欲があり，自己の将来像について明確な目標をもっている人

##### 協働性

お互いの立場や考えを尊重して良好な人間関係を築くことができる人

##### 理解力・表現力

他者の思いや状況を理解し，自分の考えを適切に表現し伝えることができる人

##### 知識・教養

保健・医療・福祉など専門分野を学ぶために，高等学校等で修得すべき※文科系・理科系にわたる基礎的な知識・教養をもつ人

##### 思考力・判断力

高等学校で身につけた知識・教養をもとに，論理的な思考によって物事を判断し，課題を解決しようとする人

##### 幅広い視野

自分たちが住む地域の保健医療や日常生活に関心を向け，国際的な視野をもちながら多角的に物事をとらえることのできる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国語—文章を正しく理解する能力と自分の考えを適切に表現するための作文能力

地歴・公民—基礎学力を有し、社会と人の生活を関連づけて考える姿勢と能力

数 学—基本的な知識と計算力及び論理的に思考する能力

理 科—自然科学を理解する基礎学力と科学的に思考する能力

外 国 語—基礎的な読解力・作文力・コミュニケーション能力

## ●入学者選抜の基本方針

編入学入試

個別試験（外国語・専門科目）で「語学力」および看護学に関する「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験（個人面接）で「関心・意欲・態度」「理解力・表現力」を評価します。学ぶ意欲や自分で課題を発見し、主体的に判断・行動する資質（確かな学力）をもつ人を総合的に選抜します。

（注）1 本専攻では、各選抜で実施する個別学力検査等におけるいずれかの得点が一定水準以下の場合、合計点のいかんにかかわらず不合格とします。

2 「知識・教養」で示す「高等学校等で修得すべき具体的な内容」については参考としてください。

## ◆放射線技術科学専攻

先進的な放射線科学を修得するために必要な理数系の基礎学力に優れ、医学に対する幅広い知識の修得を積極的に行い、医療人としての豊かな人間性とチームワーク精神を自ら高め、診療放射線技師資格取得をめざす明確な目的意識をもった、医療の発展に寄与できる資質を有する人を求めています。

## ●求める人物像

関心・意欲・態度

放射線科学、生命、健康、医療に対する強い関心とそれらを学ぶ意欲があり、自己の能力を高めるための努力を惜しまない人

思考力・判断力

自然科学を理解する基礎学力に優れ、論理的な思考によって物事を理解し、適切な判断ができる人

応 用 力

将来の技術革新に対応できる人

協 働 性

お互いの立場や考えを尊重して良好な人間関係を築くことができる人

知識・教養

本専攻の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき※理科系・文科系にわたる基礎的な知識・教養をもつ人

#### 幅広い視野

国際的な視点から地域社会の視点に至るまで、幅広い視野で課題の解決に取り組める人

#### ※高等学校等で修得すべき具体的な内容

数 学—「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」における内容の理解、計算力及び論理的に思考する能力

理 科—「物理基礎」、「物理」における内容の理解、自然科学を理解する基礎学力と科学的に思考する能力

外国語、国語—基礎的な読解力・作文力・コミュニケーション能力

地歴・公民— 将来、地域や国際社会で医療人として、また、良識をもった人間として活躍するために必要な知識や素養

#### ●入学者選抜の基本方針

##### 編入学入試

個別試験（外国語）で「思考力・判断力」「応用力」「知識・教養」を評価します。個別試験（個人面接）でこれらに加えて「関心・意欲・態度」「協働性」「幅広い視野」を総合的に評価します。知識のみならず、思考を巡らせて表現できる人を総合的に選抜します。

（注）「知識・教養」で示す「高等学校等で修得すべき具体的な内容」については参考としてください。

#### ◆検査技術科学専攻

医学ならびに医療に対する関心が高く、国際的な視野と豊かな人間性をもち、医療人として臨床検査技術を身につけ、応用できる能力を育成するために必要な学力を有する人を求めています。

#### ●求める人物像

##### 関心・意欲・態度

生命科学や医学、医療に強い関心があり、自分で明確な目標をもって意欲的に学習に取り組める人

##### 探 究 力

好奇心旺盛で、自分の興味があることについて徹底的に探究しようとする人

##### 表 現 力

集団の中で自分の意見をはっきりと伝えることができる人

##### 知識・教養

高等学校等で修得すべき※理科系・文科系にわたる基礎的な知識・教養をもつ人思考力・

判断力

自分のもっている知識や教養をもとに考慮して、客観的に適切な判断ができる人

協働性

問題解決のために対等の立場で協力できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

理 科—「化学」，「生物」及び「物理」の幅広い知識と科学的な探究心

数 学—「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学Ⅲ」，「数学A」，「数学B」における内容  
の理解，基本的な概念や原理・法則を理解する能力と数学的な思考力

外国語，国語—地域社会や国際的分野において活躍できるための基礎的なコミュニケーション能力・読解力

地歴・公民—将来，良識ある社会人として地域で活躍するために必要な基本的な知識と素養

### ●入学者選抜の基本方針

編入学試験

個別試験（外国語・小論文）で「思考力・判断力」「知識・教養」「表現力」を評価します。

個別試験（個人面接）で「探求力」「表現力」「関心・意欲・態度」「協働性」を評価します。学ぶ意欲や自分で課題を発見し，自主的に判断・行動できる確かな資質をもつ人を選抜します。

（注）「知識・教養」で示す「高等学校等で修得すべき具体的な内容」については参考としてください。

## 2 募 集 人 員

看護学専攻 10 人

放射線技術科学専攻 3 人

## 3 出 願 資 格

○ 看護学専攻を志願する者は，次のいずれかに該当する者としてします。

(1) 大学又は短期大学において看護関係学科を卒業した者又は令和 5 年 3 月までに卒業見込みの者で，注 2 に該当する者。

(2) 専修学校の専門課程において看護関係学科を修了した者又は令和 5 年 3 月までに修了見込みの者で，注 1 及び注 2 に該当する者

注 1 専修学校の専門課程の修了者及び修了見込みの者とは，文部科学大臣が定める基準

(修業年限2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時間数が1700時間以上であること。)を満たす課程を修了した者又は令和5年3月までに修了見込みの者で、学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者をいいます。

注2 保健師助産師看護師法(昭和23年法律第203号)第21条各号のいずれかに該当する者又は令和5年3月までに該当する見込みの者

#### 4 障がいのある入学志願者との事前相談

本学科に入学を志願する者で、身体に障がい(学校教育法施行令第22条の3に定める身体障害の程度)がある者は、受験上及び修学上配慮を必要とすることがありますので、出願の前に、あらかじめ本学科に相談してください。

なお、上記以外の者で配慮を必要とする者もあらかじめ本学科に相談してください。

(1) 相談の時期

令和5年1月6日(金)から令和5年1月10日(火)まで

(2) 相談の方法

相談は、次の事項を記載した書類(様式任意)及び健康診断書を提出してください。

また、必要な場合は、志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

- ① 住所、氏名、連絡先
- ② 出身学校
- ③ 志望専攻
- ④ 障がいの種類・程度
- ⑤ 受験上配慮を希望する事項
- ⑥ 修学上配慮を希望する事項
- ⑦ 出身学校でとられていた配慮
- ⑧ 日常生活の状況等

- (3) 連絡先           〒770-8503 徳島県徳島市蔵本町3丁目18-15  
徳島大学蔵本事務部医学部学務課第二教務係  
電話番号 (088) 633-9009

#### 5 出願期間

令和5年1月11日(水)から令和5年1月17日(火)午後5時まで。

郵送する場合は、書留速達で期限内必着とします。

持参する場合は、午前9時から午後5時までとします。

出願を受理した場合は「受験票」を送付します。

#### 6 出願手続

- (1) 出願に必要な所定の用紙

- ① 募集要項は、医学部ホームページ <http://www.tokushima-u.ac.jp/med/admission/> からダウンロードしてください。
- ② 出願に必要な本学所定の用紙は、次のように請求してください。  
封筒の表に「編入学志願票請求」と朱書し、返信用封筒（角型2号に郵便番号、住所氏名を明記し、140円分の切手を貼付のこと。）を同封して次の所に請求してください。  
〒770-8503 徳島市蔵本町3丁目18-15  
徳島大学蔵本事務部医学部学務課第二教務係

(2) 出願方法

志願者は、「出願に必要な書類等」を一括して、所定の封筒に入れ、出願期間内に提出してください。

(3) 出願に必要な書類等

出 願 書 類 等	摘 要
入 学 志 願 票	本学所定の用紙を使用し、必要事項を記入すること。
受験票・写真票 検定料納付用紙	本学所定の用紙を使用し、必要事項を記入すること。
検定料払込証明書	30,000円 本学所定の用紙を使用し、検定料払込証明書（出願用）を貼付すること。
専修学校専門課程の 修業年限及び課程 修了に要する総授業 時間数の証明書	本学所定の用紙により出身専修学校長が作成したもの。 （専修学校出身者以外は不要）
成 績 証 明 書	出身学校長が作成したもの。
卒業（見込）証明書	出身学校長が作成したもの。
受験票送付用封筒	本学所定の封筒に、郵便番号、住所、氏名を明記し、定形速達料金の切手（344円）を貼ったもの。
あ て 名 票	合格通知書等送付用で受験者の郵便番号、住所、氏名を明記したもの。

(4) 出願書類の提出先

〒770-8503

徳島県徳島市蔵本町3丁目18-15

徳島大学蔵本事務部医学部学務課第二教務係

電話番号 (088) 633-9009

(5) 出願及び受験にあたっての注意事項

- ① 出願書類に不備がある場合は、受理しないことがあります。
- ② 出願書類が本学科を受験する要件を満たしていない場合、受理しないことがあります。受理しない場合は、提出された書類は返却します。
- ③ 出願書類受理後は、いかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更及び検定料の返還はしません。
- ④ 出願書類に不正な事実があった場合は入学許可を取り消すことがあります。
- ⑤ 受験に際して受験票を必ず携帯してください。
- ⑥ 受験者は、試験開始 20 分前までに集合してください。

7 入学者選抜の方法

入学者の選抜は、面接等の結果を考慮して行います。

看護学専攻                      面 接      個人面接で行う。

放射線技術科学専攻          面 接      個人面接で行う

注 1 面接は、専門的知識についても質問します。

注 2 英語に関する内容を含めます。

8 配 点

(点)

科目等 専攻名	面接
看護学専攻	100
放射線技術科学専攻	100

9 試験期日及び場所

(1) 期 日              令和 5 年 2 月 9 日 (木)

(2) 時 間

科目等 専攻名	面接
看護学専攻	9 : 00~
放射線技術科学専攻	9 : 00~

### (3) 場 所

徳島大学医学部

## 10 合格者発表

令和5年3月3日(金) 16時

徳島大学医学部掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には、合格通知書を送付します。

なお、電話等による合否の問合せには、一切応じられません。

## 11 追加合格

入学定員(募集人員)に欠員が生じた場合は、令和5年3月15日(水)以降直接本人に通知(電話等)しますので、所在を明らかにしておいてください。

## 12 入学案内

### (1) 医学部保健学科の概要

医学部保健学科は、看護学専攻、放射線技術科学専攻、検査技術科学専攻から成り、それぞれの専攻の教育課程を履修することにより、人間性、科学性及び国際性を基盤に高度化専門化する医療を支え、保健・医療・福祉において、多様化するニーズに対応できる人材を育成することを目的としています。

### (2) 修業年限及び卒業の要件

3年次編入学生の修業年限は2年とします。卒業の要件は、2年以上在学し、入学時に認定された単位と併せて本学科所定の単位を修得しなければなりません。

### (3) 教育課程及び履修方法

編入学した学生は、その個人の履修状況をもとに既修得単位の認定を受け、本学科当該専攻の卒業認定に必要な単位を修得できるよう学修を行います。

### (4) 保健師養成教育の受講者選抜制の導入

平成29年度入学者(3年次編入については平成31年度入学者)から保健師養成教育の受講者選抜制を導入しています。詳細については、次のURLを参照ください。

[http://www.tokushima-u.ac.jp/\\_files/00342162/20180501.pdf](http://www.tokushima-u.ac.jp/_files/00342162/20180501.pdf)

### (5) 入学手続及び必要経費

#### ① 入学手続期間

令和5年3月8日(水)～令和5年3月15日(水) 15時まで

② 必要経費

入学料 282,000 円

入学料以外の納付金

学生教育研究災害傷害保険料，後援会費等の経費（約 60,000 円）を納付することとなっています。

注1 既納の入学料は，返還しません。

注2 期間内に入学手続を完了しなかった者は，本学への入学を辞退したものとして取り扱います。

注3 授業料の納付は，原則として口座振替により行います。詳細は合格通知の際に送付する説明書を熟読の上，所定の方法により手続を行ってください。なお，申し出により，前期分納入の際，窓口納付の場合は，後期分もまとめて納入することができます。

注4 在学中に授業料の改定が行われた場合には，改定時から新授業料が適用されます。

注5 入学料及び授業料は現行の金額であり，改定されれば改定金額が適用されます。

(6) 卒業時取得可能称号及び資格

○ 看護学専攻

学士（看護学）

保健師国家試験受験資格（必要な授業科目を選択履修した場合）

○ 放射線技術科学専攻

学士（保健学）